

令和6年度編入学 生徒募集要項

福井大学教育学部附属義務教育学校

令和6年度本校7年生を下記により募集します。本校は義務教育としての普通教育を行うほか、教育理論の実証的研究並びに福井大学教育学部生の教育実習を行う使命と性格をもっています。

現在本校が行っている探究学習(PBL:課題解決学習)は、個々の特性を生かし多様性を認め合うことで集団全体の学力を高めることを目指した学習です。この学習を活かして、「一般入試枠」の他に「ギフテッド型入試枠」を設置し、すべての生徒が互いの能力を高め合い、自分らしく成長することのできる学校を目指していきます。このことを十分ご理解の上で出願してください。

記

- 1 募集人員 第7学年 40名程度
※「ギフテッド型入試枠」若干名を含む
- 2 応募資格 (1)「一般入試枠」「ギフテッド型入試枠」共通
 - ① 小学校第6学年に在学する児童で、令和6年3月に卒業見込みの者
 - ② 合格した場合、本校に入学する者
 - ③ 保護者と同居し、通学が可能と認められる者※通学可能と認める範囲は、午前8時までに徒歩または公共交通機関を利用して登校でき、通学に際して身体的・精神的に無理がないと教育的に判断される範囲です。
※自転車通学は学校より1.5km以遠で、交通機関の乏しい場合に許可制で認めていますが、冬期は不許可とします。
(2)「ギフテッド型入試枠」 別紙参照
- 3 出願期間 令和5年10月16日(月)～10月20日(金) 10月20日(金)の消印有効
- 4 出願書類
 - ① 編入学願書(検定料振込受付証明書貼付)
 - ② 調査書(出身学校長作成)
 - ③ 志願者票返信用封筒(長3封筒を準備し、郵送先を記入。404円切手貼付。)※上記①②は、附属学園事務室(附属義務教育学校南体育館1階)でお受け取りください。
※編入学願書に検定料の「検定料振込受付証明書」を貼付してください。
 - ・検定料5,000円は本校所定の振込依頼書により、銀行等(ゆうちょ銀行を除く)の窓口で納入してください。振込時の振込手数料は、振込人負担となります。
 - ・出願書類を受理した後は既納の検定料の返還はできません。※編入学願書・志願者票の所定の欄に同一の写真(出願3か月以内に撮影した無帽、正面上半身の受検者写真。縦4cm×横3cmカラー・白黒いずれも可)貼付してください。
- 5 出願手続 (1) 上記出願書類への記入等を済ませた後①～③の書類を市販の角形2号封筒(240mm×320mm)に入れ、募集要項と一緒に配付している所定の宛名ラベルを貼り、郵送(簡易書留)してください(10月20日(金)までの発信局日付印のある書留郵便に限り受理します)。郵送(簡易書留)以外による出願は一切受け付けません。
(2) 令和5年11月2日(木)までに志願者票が届かない場合は、附属学園事務室(0776-22-7171)までお問い合わせください。

- 6 入学選考 学力検査（国語・算数）・小集団活動（自主性・創造性・協力性を中心に観察）および出身学校長の調査書により選考します。
- ※学力検査は、学習指導要領に従った内容について第6学年9月末までに学習した範囲で実施します。
- ① 日 時 令和5年11月11日（土） 8:45～12:30
受付時間 8:20～8:40
受付終了時刻までに受付をしない者は、棄権とみなします。
- ※当日病気等で別室での受検を希望する者は、受付の際に申し出てください。
- ② 場 所 福井大学教育学部附属義務教育学校
福井市二の宮4丁目45-1
TEL 0776-22-6985
- ③ 持参するもの
・志願票 ・筆記用具（鉛筆・消しゴム・定規・コンパス）
・内ズック・水筒（お茶）・マスク
（腕時計は必要ありません）
- ④ 合格発表 令和5年11月22日（水）
16:00～ 本校ホームページ（後期課程のページ）
合格者の受付番号のみお知らせします。
なお、電話等による照会には応じられません。
- 7 合格手続 (1) 日時 令和5年11月22日（水） 17:30～
(2) 場所 福井大学教育学部附属義務教育学校
(3) 内容
イ 志願者票と引き換えに合格通知書、区域外学校就学届および誓約書を受け取ってください。
ロ 事務手続説明会を行います。
合格手続をしない場合は、入学意志のないものとみなします。
- 8 追加合格 (1) 欠員が生じた場合は、追加合格者を決定し、令和6年1月24日（水）までに本人と出身学校長に通知します。
(2) 手続は、追加合格の通知後指定された期間内に行ってください。
その際、必ず志願者票が必要です。
- 9 注意事項 (1) 編入学選考日における自家用車での来校につきましては、敷地内に駐車できませんので、公共交通機関を御利用ください。
なお、本校周辺道路および施設等への不法駐車は、付近住民の方等の迷惑となりますので、絶対にしないようにしてください。
また、編入学選考日当日は、8:20まで玄関の開錠は行いませんので御了承ください。
(2) 非常災害を除き公共交通機関等のストライキの場合も予定通り選考を行います。
(3) 募集要項について不明な点がある場合は附属学校事務室にお問い合わせください。（TEL 0776-22-7171）
- 10 個人情報の利用 出願書類等に記載された個人情報（家族・調査書に関する情報を含む）は、①編入学選考の実施、②編入学手続、③編入学者の受入準備に使用する目的をもって福井大学が管理します。このため、この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合および本人（保護者）の同意を得た場合の他は、原則として他の目的で利用したり、福井大学の教職員以外に提供したりすることはありません。

令和6年度編入学 生徒募集要項 別紙

令和6年度生徒募集「ギフテッド型入試枠」設置に寄せて

福井大学副学長 松木 健一

現代社会は、世界がグローバル化する中で産業構造や社会構造が大きく転換しつつある Society5.0 と
言われる社会です。これに伴い教育の在り方も大きく変化します。子ども達にも多様性(ダイバーシティ)
が求められ、変化に対応できる主体性(Agency)が必須となっています。

ところで、生徒の中には、優れた特性を秘めている一方で、苦手なところをもつ子ども達があります。こ
れまでの日本の教育では、横並びの教育が重視されてきたため、苦手なところがある子どもは、その克服
に多くの時間を費やし、その結果、優れた特性が磨かれなかったり、苦手克服の中で自己否定に陥ったり
することがありました。学校教育では得意なことが集団の学びの中で活かされていくインクルーシブ教育
の実現が必要なわけです。そのためにはまず保護者と教師が子どもの特性を深く理解し、協力し合うこと
が最も重要です。

本校に入学希望される児童、保護者の皆さんの中には優れた特性を感じながらも、集団における係わり
の気がかりさや困難さを感じていらっしゃる方もおられるのではないのでしょうか。そこで、本校では入学
選考に際して、「ギフテッド型入試枠」を設置しました。一般に「ギフテッド」とは、平均以上の能力、高い
目的達成意識、高い創造性といった特徴をもつ者とされていますが、「ギフテッド型入試枠」では、特段、
そういった子どもに限定しているわけではありません。本校が、全教科や領域で取り組んでいる協働探究
学習やプロジェクト型学習は、子どものもつ得意分野での力を発揮することで、一人一人の良さを引き出
し、学習集団の中で学び合う中で可能性を拓きながら成長を促していくことができると考えております。
従って、この入試枠で入学した子どもを別枠(取り出し)で特別授業等を行うわけではありません。子ども
たちが互いの多様性を認め合い、全ての子どもが、他者の力を引き出すことのできるコスモポリタンな資
質・能力を身に付け、世界に羽ばたいて欲しいわけです。

一方で、得意分野があるがコミュニケーション等が苦手な子どもは、アイデンティティの形成時期と相
まって自己認識や対人関係で悩みを抱えることも多いです。そこで、入学当初から保護者の皆様と緊密な
連携を図りながら、自己有能感をもった子どもに育てていきたいのです。本校ではこれまで以上に、互い
に関連しあい、それを反映した行動一人一人の成長・発達に応じた適切な配慮と支援、集団の育ち合いに
よってお子様の可能性を拓き、成長を支えていきたいと考えております。

なお、この「ギフテッド型入試枠」では、入学後も定期的にお子様や保護者面談等を実施し、保護者の
皆様と一緒に子どもの成長を支えていきたいと考えております。ご不明な点があれば、お問い合わせいた
だき、入学選考の「ギフテッド型入試枠」をご検討ください。

※一般入試枠で入学後、学校生活を送る中でお子様や保護者の定期的な面談等の支援が必要になった場合
には、ご相談の上ギフテッド型入試枠対象に移行させていただくことがありますことをご理解ください。

「ギフテッド型入試」枠について

1. 受験生本人について、特定の対象に強い関心や集中した探究心をもって学ぶ様子が見られ、さら
に以下の項目に該当し、本人保護者共に本枠入試を希望する者。
 - ① これまでの学校生活において対人関係を構築するのが苦手で、本人あるいは保護者が困り感
を抱えている。
 - ② 乳幼児検診や小学校生活の中で対人関係や関心の偏りなどで気がかりさの可能性を指摘され
たり、専門機関への受診を勧められたりした。
 - ③ すでに発達に関する診断がある。

2. 入学後の相談について

附属学園では福井大学子どものこころの発達研究センター、福井大学教育学部、福井大学連合教
職大学院と連携して相談活動を行っています。